

学校教育に関する意識調査の結果について

1 意識調査の目的

第5次学校教育レベルアッププランによるICTを活用した授業、一校一和文化教育、小中一貫・接続教育等、特色ある学校教育の推進に係る取組に対し、児童生徒及び年長児の保護者の興味・関心等を把握し、今後の事業展開の参考とするために意識調査を行った。

2 意識調査の結果等について

(1) 調査対象及び期間

対象者	調査期間
保護者意識調査の実施（児童生徒の保護者）	R4. 8. 31～R4. 9. 11
保護者意識調査の実施（年長児の保護者）	R4. 9. 12～R4. 9. 25

(2) 意識調査の結果

①アンケート回答率

対象者	回答者	世帯数	回答率
児童生徒の保護者	2,990	10,892	27.5%
年長児の保護者	124	385	32.2%

②東広島市が進めている教育について興味・関心があることは何ですか。（複数回答可）

児童生徒の保護者	外国人講師による外国語教育	GIGAスクール構想	科学への関心を高める理数教育	部活動(中学校)	一校一和文化教育	コミュニティ・スクール
	61.5%	58.2%	43.7%	26.8%	23.7%	23.5%
年長児の保護者	外国人講師による外国語教育	GIGAスクール構想	科学への関心を高める理数教育	コミュニティ・スクール	部活動(中学校)	一校一和文化教育
	54%	47.6%	36.3%	31.5%	27.4%	21.8%

③小中一貫校の認知度について

対象者	知っていた	知らなかった
児童生徒の保護者	47.0%	53.0%
年長児の保護者	35.5%	64.5%

④小中一貫校の取組に興味・関心がありますか。

対象者	非常にある	ある	どちらとも言えない	あまりない	ない
児童生徒の保護者	9.6%	42.2%	32.9%	10.1%	5.2%
年長児の保護者	6.4%	43.8%	30.4%	12.1%	7.3%

3 意識調査の考察

- ・東広島市が進めている教育のうち、「外国人講師による外国語教育」、「GIGAスクール構想」、「科学への関心を高める理数教育」に対する保護者の興味・関心が高い。
- ・小中一貫校の認知度は、調査時点で50%未満であった。後に、中国新聞に「小中一貫教育 東広島島の挑戦」(R4. 10. 10)が掲載されたため、認知度がさらに上がったことが予想される。
- ・小中一貫校の取組に興味・関心があると肯定的な回答した保護者は50%強であることから、小中一貫特認校制度を検討することとした。